

## 災害派遣だより【4月25日】

(聞き手：八戸航空基地 広報室)

機動施設隊 1等海尉 相馬秀輔(八戸市出身)

Q1 今日の天気はどうでしたか？

くもりで時々雨の降る天気でした。

Q2 今日の活動場所はどこですか？

昨日と同じ、熊本市東区沼山津です。

Q3 何時間位作業をしましたか？

午前7時頃から移動し、ミーティング後、作業したのは8時半から16時頃までです。作業が終わって帰ってきたのは16時半頃です。

Q4 今日はどんな作業をしましたか？

県道や市道の道路啓開(瓦礫の撤去)や倒れる可能性があるブロック塀などを自治会長や家の持ち主の立ち会いのもとで撤去し、その後、土が流れ出さないように土嚢積みを行いました。

Q5 作業を進める上で困ったことはありますか？

気温はあまり上がらず作業しやすい温度でしたが、時々雨が降ると体力が奪われ大変でした。

Q6 今思うこと、感じることはありますか？

今日は陸上自衛隊の隊員2名と一緒に作業しましたが、その隊員のなかに自宅が被災し、家族を避難所においたまま作業していると言っている隊員がいました。複雑な気持ちを抱えながらも、一生懸命任務についているのだなと感じました。

Q7 余震の状況はどうですか？

余震はありますが、夜は疲れ切って寝てしまい、気づいていないことが多いです。

Q8 余震がある中でどのようなことに気をつけて作業していますか？

警戒員を立てて作業しており、危険と判断した場合は笛で合図し退避するようにしています。

Q9 作業中に余震で退避したことはありますか？

ありません。

**機動施設隊 海士長 佐々木未来（岩手県出身）**

Q 1 作業を進める上で困ったことはありますか？

女性である私にとって、土嚢の運搬は重くて大変ですが、できる限り頑張っています。

Q 2 今思うこと、感じることはありますか？

瓦礫の撤去がだいぶ進んでおり、通れる道路が多くなってきました。一日も早く瓦礫を片付け、住民の方々のために道をきれいにして交通網を広げていきたいです。

Q 3 住民の方々と話すことはありますか？

話すことはほとんどありませんが、住民の方に「ありがとうございます」「頑張ってください」と声をかけられたり、子供たちに手を振られたりすると、ぐっときます。